



分校だより

令和7年度
第2号

静岡県立
下田高等学校
南伊豆分校



学校HP



☆南伊豆分校は地域の方々との交流が盛んで、各学年がそれぞれ、こども園や賀茂地区の経営者の皆様と農業を通じて、交流を行いました！

1年生

4月19日(水)に南伊豆分校一年生と静岡銀行下田支店長様をはじめとする賀茂地区で活躍されている経営者様が交流を行いました。

一年生は、自分たちが作るカブやホウレンソウの収穫をしながら、経営者の方々と共に種まきを行いました。

一生懸命に種をまく姿から、早くも成長を感じました。

これからの更なる成長が楽しみです！



5月19日(月)に伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校の生徒と、本校の二年生が交流を行いました。

今回は、カーネーションのラッピング作業とセルトレイの土詰め・マリーゴールドの播種作業を体験していただきました。

伊豆下田分校の生徒の皆さんは、この交流活動を非常に楽しみにしてくださっているようでしたが、徐々に緊張もほぐれて、明るい笑顔を見せてくれました！

2年生



3年生



6月26日(木)、本校3年生20名が南伊豆町立認定こども園の園児との、三回目の交流を行いました。

今回は、認定こども園にて、三年生が考えてきたゲームでレクリエーションを行いました。

三年生は、自分たちで作成した野菜を使ったカードゲームなどを使って園児と楽しく交流を行いました。

園児たちも久しぶりにお兄さんお姉さんに、会えてとてもうれしそうにしていました！



3年生インターンシップ

6月4・5・6日、南伊豆、下田地域の各事業所のご協力により、3年生がインターンシップをさせていただきました。仕事を経験する中で、自分の将来がはっきりと見えてきたのではないのでしょうか。お世話くださった事業所の皆様、本当にありがとうございました。



私は国民休暇村で主にホテルの清掃の体験をさせていただきました。時間を意識して、かつ綺麗に、そして次々行動を移すことができるようになったと思う。最初は何をすればよいかわからなくて困っていたけれど、慣れてきたら次に何をしたらいいかを教えてくれた。そして、無制限に時間があるわけではなく、決められた時間内で清掃を終わらせなければならぬ仕事で、何分でも一部屋を終わらせるかをちゃんと考えた。意識できるようになった。



接客に大切なことは、お客さんから情報をどのくらい引き出せるか、ということです。販売員の方たちは、お客さんがどんなものを求めているのかを自然な会話で聞いて説明していました。どんな環境で住んでいるのか、何人で暮らしているかなどの条件によって、その機器の特性を生かせるかわ変わっていくから、大切なんだと教えてもらいました。



お世話になった事業所（敬称略）

長田建設・南伊豆休暇村・ふれあい南伊豆ホスピタル・エクレシア南伊豆・小林テレビ設備・ホテル伊豆急・ネッツトヨタ・トヨタカローラ静岡・下田東急ホテル・下田メディカルセンター・伊鈴商会・下田時計台フロント・どんぐり農園・美容室タイガー・土屋建設・ノジマ・下田セントラルホテル・伊豆森林組合・下田海中水族館・Ruby・下田漁業協同組合

忙しい中で教えていただき、ウィッグでボブのカットの仕方や、パーマのやり方を教えていただきました。ボブのカットの仕方は簡単なようで少しだけ難しかったです。ハサミの持ち方も少し違って、櫛でとかしながら真っ直ぐにして切ります。私には難しかったので、櫛でとかしながら指で抑えて真っすぐに切るやり方を教えてもらいました。そして、その持った髪の毛を上を持ち上げると段々ができてしまうので浮かさないように意識して取り組みました。



撮影で大切なことは何か、杉山さんは、その場にいるかのように臨場感のある映像にすることだと教えてくれました。人は、無意識に脳内で見たいものを切り取っており、本当は見えていないはずの周囲の景色を無意識に省略しているから、映像をそれに似せるよう考えながら撮影することが大事なんだと教わりました。